

令和元年度「幼児車内放置ゼロ」巡回活動の結果について

本活動の結果につきまして、以下のとおりご報告させていただきます。

《報告事項》

平成17年8月1日からの活動開始以来、本活動も15年目を迎えました。

今年の夏も記録的な暑さとなりましたが、猛暑の中、熱中症で搬送される方や亡くなる方が相次ぐ中、今年も、例年同様、1社で複数の報告書を提出された組合員もあり、本活動に対する取り組みへの関心の高さと熱意が感じられ、また、特別会員、賛助会員からもご協力いただきました。

なお、平成18年、平成19年、平成23年、平成27年、平成29年、平成30年において発見事例があり、平成17年からの活動開始以来、組合員10社により15名の幼児を発見しておりますが、幸いにも今年は、発見事例はありませんでした。

【総括】

- 平駐車場はひと回りし、立体駐車場は最上階に車両を止めて巡回した。また、雨天時の立体駐車場は暗いので、しっかり確認した。
- 離れた場所に駐車をしている車両や、チャイルドシートがある車両を中心に巡回した。
- エンジンがかかっている車両や、窓が少し開いている車両を特に注意して巡回した。
- ワンボックスカーを中心に巡回した。
- 中まで見えないワンボックスカーで、エンジンがかかっている車両については、店舗に連絡し、カメラで確認をお願いした。
- 1日に何度も巡回を行った。
- 不審者に見られないよう、ビブスを着用して巡回した。
- ホールと連携して、不定期に巡回した。
- 大型ショッピングモール内にある訪問先ホールには、ホール専用の駐車スペースもあったが、それ以外の駐車場も広く巡回した。
- 休日、プライベートでパチンコ店に行った時にも気にするようにしている。

【特記事項】

- エンジンをかけっぱなしの車両で休憩する人が多かった。
- 窓の閉め忘れの車両があった。
- スモークガラスの車両は、フロントガラスからペンライトを当てて確認している。
- 子どもが駐車場で遊んでいたのが危険だと思い注意し、ホールに報告した。
- ペットを置き去りにしている車両があり、駐車場の警備員に知らせた。
- 車内に荷物（かばん）等が放置されていた。
- 巡回する人の熱中症予防も考える必要がある。